

仕分け結果に対する町の方針

事業名	公共下水道維持補修事業	第1班
		第3事業

仕分け結果	仕分け人チーム	結果	寒川町(要改善)	【主なコメント】 ●下水道事業の全体像、トータルコスト今後の負担について住民に示すべき。 ●長期経営計画を住民に示し、法改正に備えるべき。 ●維持管理に関しては、町民の安心安全を考えて計画性をもってしっかりと維持管理して頂きたい。次回は事業全体についての議論が必要。 ●情報公開の推進。料金とサービスのあり方を町民と共に議論することが大切。 ●長寿命化計画の策定に向けた財政計画・事業計画等は当然検討されると思うので計画策定の必要性の段階から住民への説明を行うことが必要。 ●下水道全体の計画を情報公開を進めながら早急に策定して欲しい。町民への注意喚起も必要だと思う。(情報公開と下水道全体計画の早期策定)
		不要	0	
		民間	0	
		国・県・広域	0	
		寒川町(要改善)	5	
		寒川町(現行どおり)	0	
	町民判定人	結果	寒川町(要改善)	【主なコメント】 ●町民に身近な事業ではあるが、事業内容、事業費用が本当に適切なのか。 ●長期的な見通しが必要。 ●下水道事業の全体が不明で良く理解できない。(事業内容の⑤ガス検知器保守点検とは何のためのものかなど)また、現状の把握が出来てないと言うのはなぜか。行き当たり事業のように思う。下水道事業は維持管理と整備事業をセットで考えた方が良い。 ●整備はわかりやすいが、維持補修は難しい面があることは理解できる。しかし、先行他市町村の例を調査し全体を見渡してほしい。 ●町財政と下水道事業の費用関連(計画等)についてもっと明確に積極的に広報すべきと思う。全体像が見えない。
		不要	0	
		民間	0	
		国・県・広域	0	
		寒川町(要改善)	7	
		寒川町(現行どおり)	2	

町の方針	寒川町(要改善)
<p>・寒川町の公共下水道は昭和49年度の整備開始から40年近く経過したものもあります。下水道の平均耐用年数は50年程度と言われており、今後は更新や維持管理の費用が発生するため、計画的に老朽化対策を図る必要性があります。そこで、老朽化が想定される初期整備地域について、平成23年度から管内部の詳しい状況調査を開始し、平成24年度末を目途に下水道長寿命化計画を策定し、その他の地域についても段階を追って策定してまいります。</p> <p>・平成26年度を目標に地方公営企業会計制度への移行を進め、それを踏まえ、経営計画を作成してまいります。作成に際しては、下水道事業の全体像を町民に示し、財源の使途、運営方法などを公表してまいります。</p> <p>・下水道使用料は平成13年度以降改定を行っていないことから、現在の使用料で受益と負担のバランスが保たれているのか、また、下水道会計の経営面からの検証も必要であることから、使用料のあり方について平成24年度末までに検討いたします。</p>	